

モンゴル国における碑文調査の経験から

海外学術調査総括班フォーラム 東アジア分科会

東京外国語大学AA研

2010年6月26日11:00~13:00

松川 節(大谷大学文学部)

報告内容

0. モンゴルという国と地域(基本情報)

1. 調査履歴

2. 調査に関連して

- ・地域の治安状況
- ・調査手続き, ビザなどについて
- ・地域問題と対処方法(カウンターパート情報)
- ・健康管理や病気について
- ・会計関係(予算のやりくり等)
- ・科研制度の改定とその問題点・個別の事情
- ・資料の持ち出し
- ・人権・倫理問題について(個人情報の問題)

3. その他(情報発信について)

0. モンゴルという国と地域 (基本情報)

- 面積: 156万4,100平方キロメートル(日本の約4倍)
- 人口: 273万6,800人
- 首都: ウランバートル(人口約102万人)
- 民族: モンゴル人(全体の95%)及びカザフ人等
- 言語: モンゴル語(国家公用語), カザフ語
- 宗教: チベット仏教等
- 政体: 共和制(大統領制と議院内閣制の併用)
- 元首: エルベグドルジ大統領(2009年6月就任)
- 議会: 国家大会議(一院制, 定員76, 任期4年)
- 兵役: 徴兵制, 男子満18歳-28歳のうちの1年間
- 主要産業: 流通業, 鉱業, 牧畜業, 軽工業
- 一人当たりGDP: 1,560米ドル
- 通貨: トグログ(MNT)
- 為替レート: 2009年11月下旬 1米ドル=1,433トグログ
- 在留邦人数: 366名(2009年10月現在)



1. 調査履歴

- 1994年:ビチェース・プロジェクト予備調査
- 1996～98年:本調査
- 2001年:西モンゴル調査
- 2002年:トーラ・オルホン河畔岩壁銘文調査
- 2004年:ビチェースⅡ 西モンゴル調査
- 2005～08年:ビチェースⅡ 東モンゴル調査
- 2009年:エルデニゾー・プロジェクト予備調査
- 2009年:グレート・ヘンティ・プロジェクト調査
- 2010年:ビチェースⅢ 白樺樹皮文書調査
- 2010年:エルデニゾー・プロジェクト本調査

モンゴル国における碑文調査の経験から
(松川)

2. 調査に関連して 地域の治安状況

- 1 2010/04/26 渡航情報(危険情報) 感染症危険情報が発出されています。
- 3 2008/07/04 渡航情報(スポット) 2008/07失効 モンゴル:非常事態宣言の発令(注意喚起:その2)
- 4 2008/07/02 渡航情報(スポット) 2008/07失効 モンゴル:非常事態宣言の発令(注意喚起)
- 5 2006/04/28 渡航情報(スポット) 2006/05失効 モンゴル:家畜伝染病(口蹄疫)発生に伴う立入禁止区域に注意
- 6 2005/08/11 渡航情報(スポット) 2006/01失効 モンゴル:ウランバートル市内における強盗事件の発生
- 7 2005/07/20 渡航情報(スポット) 2005/11失効 モンゴル:毒草ハルガイに注意
- 8 2005/05/13 渡航情報(スポット) 2005/10失効 ウランバートル(モンゴル):首締め強盗に対する注意喚起
- 9 2004/10/14 渡航情報(スポット) 2005/02失効 モンゴル:蠅蛆(ようそ)症の発生
- 10 2004/09/02 渡航情報(スポット) 2005/02失効 モンゴル:赤痢の発生
- 11 2003/05/12 渡航情報(危険情報) 失効情報 モンゴル(ウランバートル市)に対する渡航情報(危険情報)の発出
- 12 2003/05/02 渡航情報(危険情報) 失効情報 モンゴルに対する渡航情報(危険情報)の発出

2. 調査に関連して 地域の治安状況

- 対日感情：良好
 - 複雑な対中国，対韓国感情
- 民主化（1990年）以降の経済破綻状況
 - 2005年ころから好転
- 地下資源開発への反発
 - 外国資本への警戒＋土地を掘るというタブー
- GPSの利用
 - 可能

2. 調査に関連して

調査手続き, ビザなどについて

- 共同研究協定
 - 精密機械機器の持ち込み・持ち出し
 - 発掘を伴う場合
- 日本人に対する短期ビザ免除(2006年, 2010年4月以降)
- 携帯電話の普及
- ことばの問題
- アクセス
 - 航路: モンゴル航空直行便・インチョン経由・北京経由
 - 陸路: 北京・モスクワ(イルクーツク)から国際列車
- チンギスハーン空港から市内まで
 - 要送迎(ホテルの送迎車あり)
- 宿泊施設
 - ウランバートル市内は問題なし(メールなどで予約可)
 - 地方: 夏はツーリスト・キャンプ。テント泊も可

2. 調査に関連して

地域問題と対処方法

(カウンターパート情報)

■ 研究機関

- モンゴル科学アカデミーの各研究所
考古・歴史・言語文学・遊牧文化...
- モンゴル国立大学
- その他の大学
- 博物館：自然史・歴史・美術館...

■ ビチェース・プロジェクトの場合

- アカデミー歴史研究所⇒歴史博物館⇒国際遊牧文化研究所

2. 調査に関連して 健康管理や病気について

- 伝染病対策
 - ペスト, 口蹄疫...
- その他
 - 熱中症対策, 「馬乳酒」対策, やぶ蚊対策, 草アレルギー対策
- 緊急時の対策
 - 帰国が一番

2. 調査に関連して 会計関係(予算のやりくり等)

- チャーター車(日本製四輪駆動車)
 - 一日約100~120ドル(ガソリン代含む)
- 現地研究協力者への謝金
- 宿泊費と食費
- 調査協力費

2. 調査に関連して

科研制度の改定とその問題点・ 個別の事情

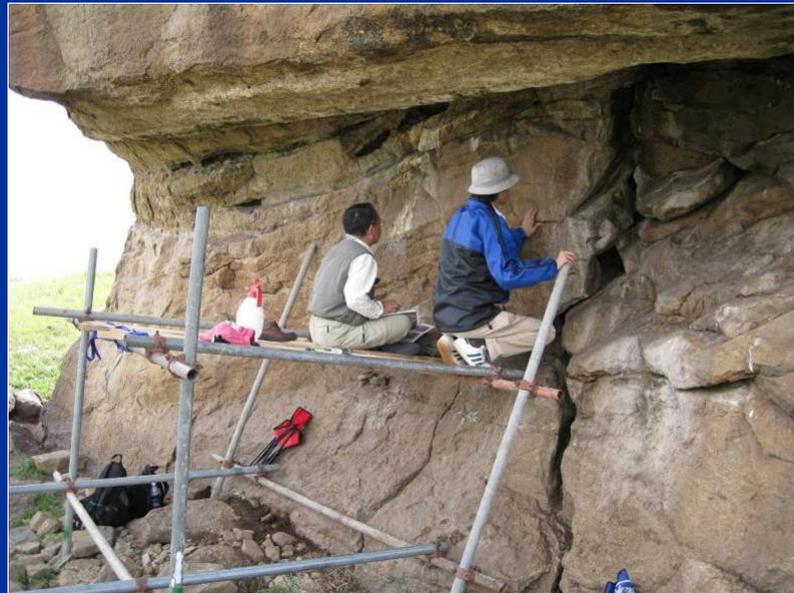
- 最終年度研究内容の充実化
- WEBによる成果公表の利点と欠点



モンゴル国における碑文調査の経験から
(松川)

2. 調査に関連して 資料の持ち出し

- 協定書に記載してある範囲で可能
- やや面倒な税関手続き



2. 調査に関連して 人権・倫理問題について (個人情報の問題)

- 該当なし

その他(情報発信について)

- CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)の活用
- 動画投稿サイトの活用

ご清聴ありがとうございました



モンゴル国における碑文調査の経験から
(松川)